

大臣 誠ニ遺憾ノ次第ナリ御名ノ儀モ異議ナカルヘシト察シ不日双方

鈴印ノ運ニ至リ諸事結局ノ上ハ過刻申述ヘシ當地ヘ携來ル所ノ
大砲一座國王殿下ヘ獻シ貴大臣等ニハ短銃ヲ贈呈セント專ラ修
好順成ノ日ヲ待チ居シニ豈料ランヤ勿々起程ノ事ニ立至レリ貴
大臣等他日悔フル事無キヲ要ス乍然先ツ今晚ハ當地ニ滯留スヘ
シ

右ニテ談畢ル十二時歸館

61

○二月二十一日森山權大丞會見記事

二月二十一日午前十一時森山茂鈴木大亮朝鮮國大臣申樓ト其旅館ニ
於テ談判浦瀨裕通譯宮本小一野村靖同坐

森山

昨夜執事廳ニ於テ御應接ノ際貴國王陛下ノ批准御名ノ義ニツキ貴大臣
云フ我大臣演述ノ旨趣前後相違セリト然ルニ該件ハ我大臣ニ於テ相違
シタル廉絶テ無之ニヨリ最前兩訓導 吳慶錫 玄昔運 我旅館ニ來リ條約案ヲ寫取
リタル手續等篤ト申述ヘ齟齬ヲ生シタル原由ヲ詳明ニ致スヘキ旨我兩
大臣ノ命ヲ受ケ參館セリ
申

62

我國王殿下ノ御名ヲ署スルノ一案ハ縱令最初ヨリ御談判ニ相成タル

ニモセヨ國法上ニ於テ必ス施シ得ヘキ事柄ニ無之況ヤ條約案ノ寫既
ニ我朝廷ニ奏聞シタル上ハ御寶ノミニテ相濟候様致度

森山

兩訓導ノ寫取タル條約案一應拜見致度候

申大臣玄昔運ニ命シ該案寫ヲ出サシム乃チ我ノ原稿ニ照合シ王御寶
三字ヲ塗抹シタルヲ見出タリ

鈴木

本月十二日執事廳應接ノ時我大臣此草案日本國文以テ修好結約ノ條款ヲ演
述シ了リ後刻訓導ヲ我公館ニ遣リ寫取ラセントノ旨貴大臣明言セラレ
タルニ翌十三日午後一時マテ該員就館セス同日ノ談判ニ於テ我大臣ヨ
リ之ヲ貴大臣ニ促シ午後四時慶錫昔運乃チ來ル森山及予之ニ接シ原稿

63

ニ就キ逐款講明シ昔運筆ヲ執リ之ヲ漢文ニ譯セリ御批案ノ尾ニ朝鮮國
王李某ノ下ニ方形ヲ畫シ鈐印ノ位置ヲ示シタルヲ見兩人ヨリ臣子ノ分
國王ノ姓名ヲ眞寫スル能ハス朝鮮國王御寶ト譯シタキ旨ヲ申述タリ依
テ意譯ヲ用ルハ敢テ禁スヘキニ非ス然レトモ兩國互換スヘキ本書ハ現
ニ御名ヲ署セラルヘキ旨ヲ答ヘ且此譯文ハ我國文ト適合セサル字面夥
多アリ故ニ今唯其主意ヲ認タルノミナレハ行文ハ他日ノ協議ニ付スヘ
キ旨ヲ確ニ兩人へ申聞置タリ然ルニ王御寶ノ三字ヲ塗抹シ別ニ槿頭シ
テ之ヲ改書シ單ニ御寶ヲ鈐スルノミニテ朝鮮國王御名ヲ記スルノ意ニ
非スト言フハ甚タ不審ナリ加ルニ昨二十日宮本大丞小牧幹事及余三人
昔運ト會シ該案文字ノ適否ヲ協議添削ノ上御名ノ二字ヲ補入シタリ是
固ヨリ意譯ヲ改メ直書シタルノミナレハ更ニ紛議ヲ生スヘキノ理ナシ

64

今幸ニ昔連モ坐ニ在リ篤ト御調査ノ上間違タル原由ヲ詳明致度候
申

我國王御名ヲ記スルハ國法ニ於テ何分ニモ施シ難シ單ニ御寶ノミニ
テ相濟シ候様幾重ニモ御周旋ニ預リ度候

森山

御名之ナクテハ條約交換不相調旨既ニ我大臣ヨリ申述ラレタル通ナレ
ハ我等ヨリ周旋ノ義ハ御斷致候唯今鈴木ヨリ演述シタル手續ニ據レハ
我大臣ニ於テ前後相違ノ廉毫モ無之然ルニ昨夜ノ御辭ハ何等ノ御考ニ
候哉

申

誰ノ間違ニモセヨ今更取糺スニモ及フ間敷唯御寶ノミニテ結約ノ義

65

ヲ企望候

鈴木

該案寫取ノ手續既ニ縷陳ノ通ナリ我方ニ於テハ毫モ間違ノ廉無之ハ勿
論殊ニ三字ヲ塗抹シタル證據モ判然タレハ全ク貴方ニ生シタル齟齬ト
相認メ候

森山

我大臣ノ談判前後相違シタリト申サレタル主意承リ度候
申

既ニ御寶ノミト我朝廷へ奏聞シ置タル故再ヒ御名ノ事ヲ申遣サハ在
京ノ諸大臣等前後齟齬セリト疑念スヘクトノ意ヲ陳ヘタル事ニテ全
ク貴國大臣ニ於テ相違セラレタリトノ譯ニハ無之候間貴大臣へ可然

66

御申立相成度候

森山

承知致シ候我大臣ニ對シ相違シタリトノ義ヲ申サレタルコト無之段貴大臣ノ御答詞體ニ稟報可致候

右談畢テ森山鈴木歸館宮本野村留ツテ別ニ議スル所アリ

67

○二月二十二日安田少判官告別記事

二月二十二日兩大臣密ニ計ル所アリ將サニ去テ本船ニ歸ラントス午前十時三十分安田少判官ヲシテ代ツテ別ヲ彼兩大臣ニ告ケシム少判官先ツ申
檣ノ寓ニ至リ面接ヲ乞フ荒川德滋通譯ス

少判官 今爰ニ貴大官ニ面晤ヲ乞ヒシハ他事ニアラズ乃チ貴大臣ニモ兼テ了知セラルル如ク我兩大臣本日イヨ々々歸艦セラレントスルニ就キ自ラ貴寓ニ來リ告別スルハ本意ナレド行事様々其儀ニ能ハズ依テ余ヲシテ代テ別ヲ貴大官ニ告ゲシムルナリ
申 貴大臣今マヨリ歸艦セラルルトハ眞ニ愕然ノ次第ナリ敢テ問フ其儀既ニ決定セルヤ

68

少判官 既ニ已ニ決定シテ今將サニ發セントシ余ヲシテ別ヲ貴大官ニ